

## 平成 30 年度避難行動要支援者支援制度推進会議 記録

日時：平成 31 年 2 月 25 日（月） 19：00～20：50

場所：総合福祉保健センター 第 1・2 会議室

### (1) 制度の現状と対応について

#### ○在住外国人について

- ・韓国、中国に次いでベトナムが多く、昨年と比較してベトナムが 100 人増加している。それぞれに対応した外国語表記ができていないため、広めていきたい。また、ベトナム語の通訳の数も少なく、人数に対応した施策が必要である。

#### ○登録に関して

- ・不同意理由で「同居する家族が支援」が多い。同居とはいえ、常時であれば日中は同居となる人等様々だが、どのように把握しているのか。  
⇒詳細な状況までは確認していない。
- ・日中は学校や作業所に行っていて、夜までの時間帯が気になる。
- ・平日はグループホーム、週末は自宅の場合に、どこで登録したらよいか。  
⇒ひとりになったときに、不安であれば登録を勧めている。

#### ○自助、共助について

- ・自助の取り組みをしている。その一歩として、隣近所の人に知ってもらうことが大切、ただ登録するだけでは助けてもらえない。上手なおつきあいが大切である。

#### ○指定避難所、福祉避難所について

- ・福祉避難所の運営、指定避難所との違いなど。  
⇒指定避難所が開設した際には、福祉避難所はいつでも開設できるように準備を整えた状態となっている。まずは最寄りの指定避難所に避難していただき、指定避難所内の福祉避難スペース（和室や個室等）を設けているので、そこで過ごしていただき、それでも難しい場合には福祉避難所への避難について避難所職員に相談いただきたい。指定避難所の職員（避難所運営班）、災害対策本部、福祉班で対応を協議する。福祉避難所への移動については、まずは近くの人が協力いただき、難しい場合には民間タクシー事業者と締結した協定の活用もある。ご相談いただきたい。

#### ○福祉サービス事業所との関係について

- ・サービス事業所として、災害時には気になる人に個別に連絡をしている事業所もある。こうした動きと、この支援制度とが全く連動していない。福祉と地域、平時と災害時の連携が必要となるのではないか。
- ・認知症状のある人について、サービス事業所は状況がわかっているにもかかわらず、名簿には詳しい内容が入っておらず、地域住民は一見でわからない。

⇒裏面に続きます

## (2) 制度の今後の推進について

### ○けやき台自治会の取り組み

- ・ 30年11月以降、県の事業(補助金)を活用して、個別支援計画の策定に取り組んだ。
- ・ 計画はファイルに入れて登録書類と保管。日中いるところ、寝る場所、飲み薬等。
- ・ 支援者を決めて提出するか、いなければ自治会が紹介する。現状では班長が担っており、班長マニュアルにも記載した。
- ・ 組織としてやるには責任を持ってやるべきだと考えている、また、半ば強引に推進している。
- ・ 支援者の指名に関し、苦情はあまりない。来年度からは班長の業務として支援者、要支援者の見守りを行う予定。
- ・ けやき台では竜巻や火災などにより、長期化した際のライフラインや交通遮断、孤立時の食料などが懸念され、自治会として必要な備えを行うようにしている。そのためにも要支援者の支援に必要な情報を把握することは大切。
- ・ 研修会においてよく言われるのが、「地域のつながりは大切である。」ということ。強く同感する。めざすところは地域の絆、地域のつながり、隣近所のつながりでの支援。
- ・ 来年度以降、関係機関との連携は課題。地域での高齢化の進展もみられる。
- ・ 自治会で年1回マイプランの更新を行いたいと考えている。
- ・ 今後の活動について手探りであり、ケアマネ等とのつながりが必要だと感じる。
- ・ マイプランは名前、連絡先、同意する事項については、要支援者に必ず書いてもらっている。

### ○意見など

- ・ 地域で班長をして支援する側になったが、周りから手助けしようか、と声をかけられて、うれしかった。
- ・ 各地域で日頃からのつながりによる取り組みがある。助け合いの方法の一つとして、日頃からの助け合いがやはり大事ではないか。
- ・ 災害はいつどこで起こるかわからず、その時の状況に応じて考えていかないといけない。自分が担当する地区では、高齢者調査の際に電話付近にマイプランを置いてと依頼している。
- ・ 地区によってそれぞれマイプランの策定を行っている。もしかしたら個別支援計画は不要ではないか。災害に強いまちは、日ごろの活動、つながりが強いことである。
- ・ 地域では、防災や福祉だけでなく、防犯なども安全安心に含まれる。行政が縦割りではなく横に連携して、今日の個別支援計画等の進め方についても、今日の意見を踏まえて推進するかの旗振りもしつつ、進めてもらいたい。